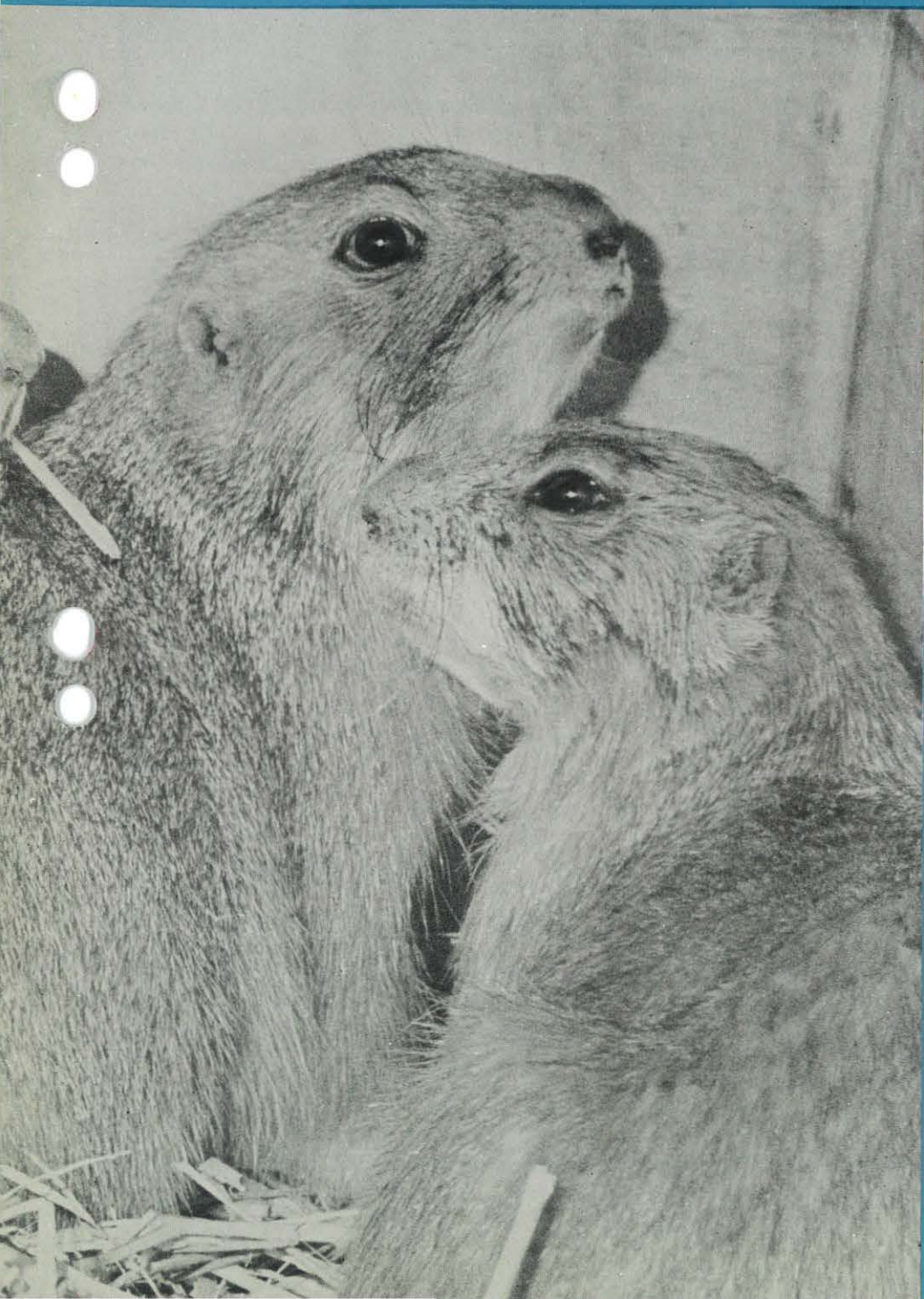


なきごえ



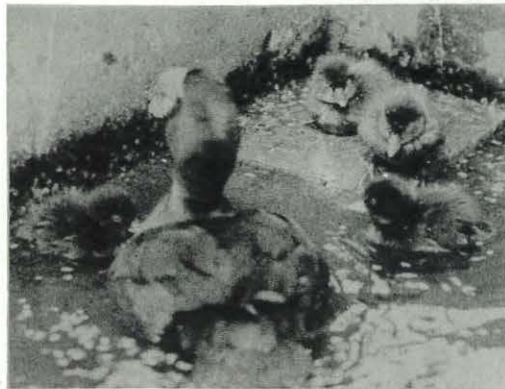
1970

9

大阪市
天王寺動物園協会

キンクロハジロのふ化、育芻

雁鴨類のふ化、育芻は、極めて数少なく、動物園でも年々、美しい雁鴨類が少なくなってきています。このため、天王寺動物園では、数年前からアイスランドから、水鳥の卵を輸入して、ふ卵機で、ふ化させてきましたが、成績は良くなく、15コ中、1、2羽しかふ化しませんでした。そして、4年間に、4羽が成長し、その中の2羽が、6月11日に、日本で初めての、飼育繁殖に成功したのです。6月11日に初卵を生み、そして6月20日までに7コも生みました。途中4コ目を産卵した6月18日から抱卵を開始しました。卵を抱くのはメスだけで、オスは巢のまわりの警戒をし、メスは、日に1度か2度位巢からはなれて餌を食べに出るだけで、それ以外は、じっと巢にこもっています。抱卵日数は、23日から25日位で、25日目の7月14日に、待ちに待ったヒナの声をかいたのです。それもなんと7コ全部ふ化していたのです。しかし、次の日一番最後にふ化したヒナが、ほかのヒナの下じきになって死亡しました。でもほかの6羽はひじょうに元気で、24時間もしない内に、母鳥といっしょに水中にもぐっていました。でも最初の事でもあるし、大事をとって2羽だけ人工育芻する事にしました。人工育芻のヒナは、別の飼育場で飼いました。そして飼育場の温度は30℃に保ち、そして60Wの電球で36℃の温室を作り、ここでヒナが、冷えた体をかわかせるようにしました。餌は、初めにミジンコとうき草、それにドッグフードを細かく切ったものを与えました。そして、驚いた事に、親の方のヒナが、池の底に沈んだミミズを食べていたのです。それから人工育芻のヒナは、ふ化後2日目にプールに入れてやると、体が水でびしょりとなったのですが、親の方のヒナは、よく水をはじいているのです。これはきっと、親鳥の油がヒナの体につくからだと思います。それから5日目に、パンを与えました。このパンもよく食べヒナはどんどん大きくなっていきました。しかし、人工の



ヒナは、ふ化後2週間たっても、水の中に入るのを好まず、体がよごれてきたので、大きなプールに、思いきってヒナを入れてやりました。するとヒナはよるこんで水あびをしたり、もぐったりしました。そしてふ化後20日目にヒナは、ドジョウを食べようになりました。そして、母鳥が2回目の産卵を行ない、ヒナも元気だし、これでもう安心できるようです。このキンクロハジロの繁殖を、いい経験として、これから、もっとめづらしい雁鴨類の繁殖を試したいと思います。〈グラフ参照〉

(農本 武志)

表紙の写真説明

“ブレイリードッグ”

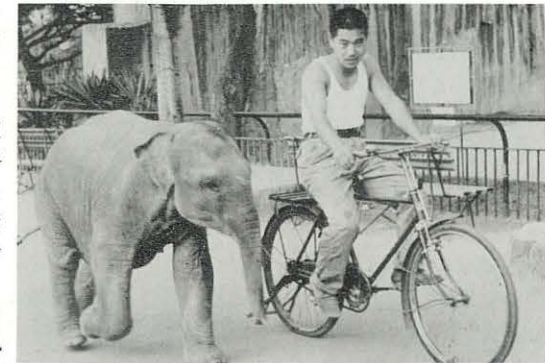
アメリカの草原地帯に群れをなしてすんでいます。地下に長いトンネルをつくってすみ、危険がせまるとこの穴に逃げ込みます。万国博を記念して、アメリカから贈られましたが、近く新しい放飼場も作られます。

なきごえ9月号もくじ

| | |
|--------------------|-----|
| キンクロハジロのふ化、育芻 | 2 |
| 仔象の飼育 | 3 |
| 動物園グラフ(キンクロハジロのふ化) | 4・5 |
| タイの象使いたち | 6 |
| 動物園ニュース | 7 |

仔象の飼育

5月3日の午後、待望の仔象が、到着しました。この仔象は、万国博を記念して、印度より贈呈されたものです。私も空港まで、出迎えに行きました。輸送檻の中で窮屈そうに鼻を振っていました。空港で、バナナ、リンゴ、パン、大根の葉を与えましたが、長い旅で疲れているのか、大根の葉、リンゴを少しだけ食べました。動物園へ到着して輸送檻から出して、仮設象舎まで歩いて行く事になりました。久しぶりの運動に喜んで歩いていました。この仮設象舎は、ラクダ舎にあります。以前はラクダの寝室でした。仮設象舎に着いて、けい留環につなぎました。寝室には十分にワラを敷きました。慣れぬためか、私が用事に出ると、大きな声で鳴きます。原地では米飯6キログラム、スキムミルク1キログラム、野菜4キログラムを食べていたそうです。私も早速、にぎり飯を作って与えました。短い鼻を上げ、口も開けて催促しているのです。3キログラムの米飯も驚く程、早く食べました。空腹だったのでしょ。食べ終わるとワラの上で、横になって眠りました。物音にも驚く事なく眠り続け、約40分後起き、又短い鼻を上げ、催促しています。ミルクを与えることにしました。乳児用のミルクを約6倍量の温湯に溶かし、哺乳びんで哺乳することにしました。乳首は仔牛用のを使用することにしました。一応 200cc与えますと、すぐ飲んでしまいました。まだ催促するので、200cc又与えました。自分自身の鼻で哺乳びんを持って飲まないものかと考え、今まで哺乳びんを私が持っていたが、手を離す事にしました。初めは、哺乳びんを落とし、うまく自分自身で飲む事が出来ませんでした。慣れてくると、上手に鼻で哺乳びんをまいて飲むようになりました。その飲む姿は、あどけなく、可愛いくて仕方ありません。飲み終ると、私の手元まで持って来るようになりました。私がいじ悪をして、哺乳びんを仔象から取らぬと、首を振って催促します。十分飲むと横になって眠りました。五月とはいえ、夜は冷え込みますので、毛布を掛けて、私も心配なので一緒に寝ることにしました。仔象の眠る姿は、横になって、鼻をまいて、気持ちよく眠っています。翌朝、くさりはずして、散歩に出ることにしました。初めは、園内の動物達が驚くので、仔象も、驚



仔象の運動をさせる筆者

いていましたが、慣れてくると、私の後から懸命に走ってきます。散歩後、寝室へ帰り哺乳しました。この日、一日の飼料量は、ミルク6000cc、リンゴ1キログラム、ムシモ2キログラム、草5キログラムでした。

入園後3日目の5月5日の子供の日、インド政府から、外国貿易大臣バーガット氏、中馬大阪市長ら多数が出席されて仔象の贈呈式がありました。午後からは、恒例の「象の目方を計る会」があるので、仔象も特別参加することになりました。北園から、南園の象舎まで歩かせて行きました。この計量では260キログラムありました。南園の百合子、花子の2頭の象にも驚く事なく落ち着いて居ました。

入園後10日目、激しい水様下痢便で、食欲もなく衰弱するばかりです。激しい下痢のため、水分の多い物を好みますので、ミルクの中に人参、リンゴ等のジュースを混ぜ与えることにしました。最悪の時

等は横になると腹痛が激しくなるのか立ってばかりいましたので、体力も弱り、壁にもたれ、時には倒れそうになるので、夜中でも、仔象から離れる事が出来ませんでした。

このような状態が約2週間位続きましたので、体重も減り、皮フの艶も悪くなっていました。以前は哺乳回数が3回でしたが病後のため、哺乳回数を6回にする

ことになりました。固型物もまだ、消化する程完全に回復していないので、ジュースにして与えました。砂糖湯も好んで飲みました。便の状態が回復するのに伴って少しづつ固型物を増量することにしました。5月24日には仔象の命名式が催され「ラニー博子」と命名されました。

その後は、順調に育っています。体重も増し皮フの艶も良く成って来ました。仔象の一日の生活は、午前6時、第1回目の哺乳、午前8時、運動をかねて、私の乗る自転車の後を走って、けい留場まで行きます。午前9時、第2回目の哺乳、午前10時、給餌、正午、第3回目の哺乳、午後1時、水浴び、午後3時、第4回目の哺乳、午後3時半、水浴び、午後5時、けい留場から寝室へ帰舎、午後6時、最後の哺乳、これが仔象の一日の生活です。水浴びは十分な設備がないので、けい留場の横に穴を掘って水を貯めて水浴びを行ないます。一日の給餌量はミルク9000cc、リンゴ6キログラム、ムシ芋3キログラム、ペレット1キログラム、フスマ500グラムです。(三浦 正明)

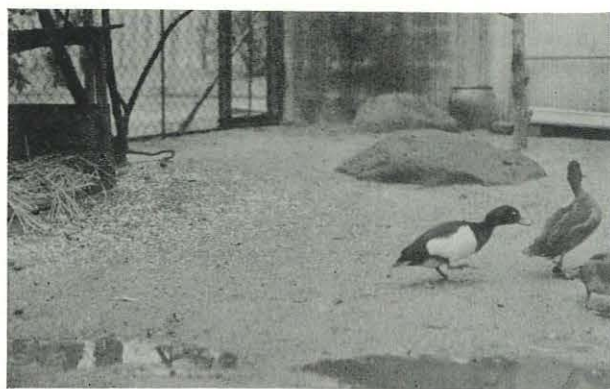
動物園グラフ

“キンクロハジロのふ化”

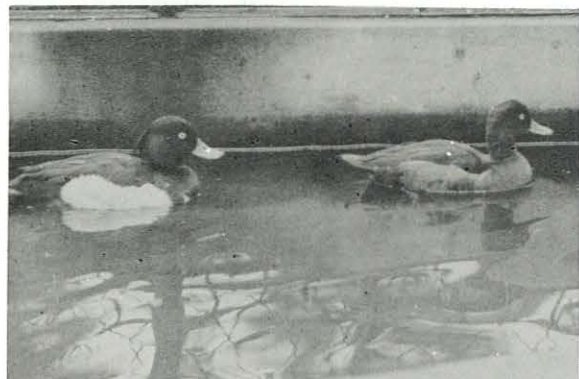
3～4年前、アイスランドから卵を、とりよせて人工ふ化させたキンクロハジロが、今度は自然ふ化に成功しました。

キンクロハジロは、鴨の中でも日本にはあまり多くやって来ない種類で、今後も自然ふ化が望まれます。ここに写真でご紹介します。

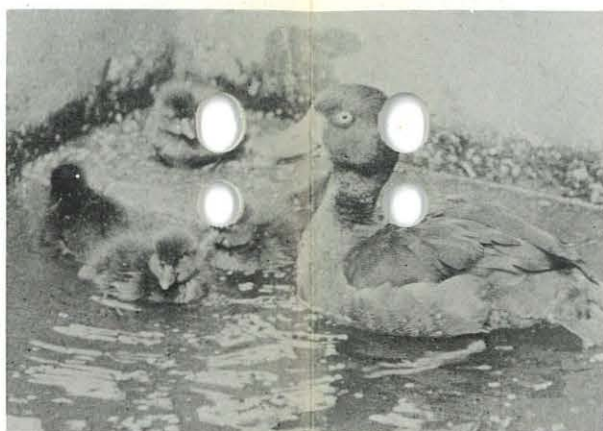
(農本武志 撮影)



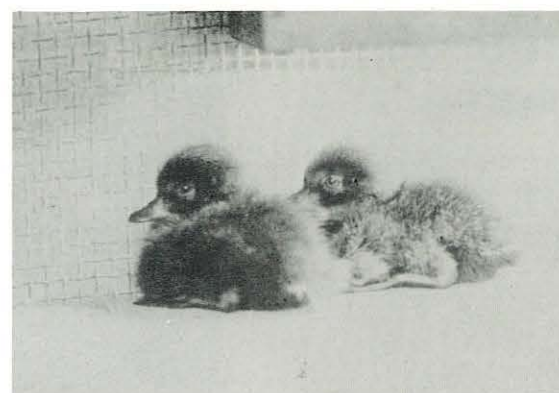
キンクロハジロの飼育場→
左が、巢小屋
ここにおす1羽
めす3羽を収容
していた。



→
左がおす
右がめす



↑母どりと元気に泳ぐひな鳥。
真黒なうぶ毛に被われた、ひな達。
すばやい速さで水中にもぐっていました。



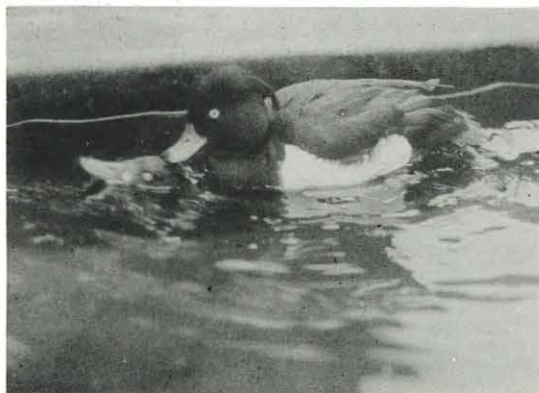
←人工育卵にした2羽のひな



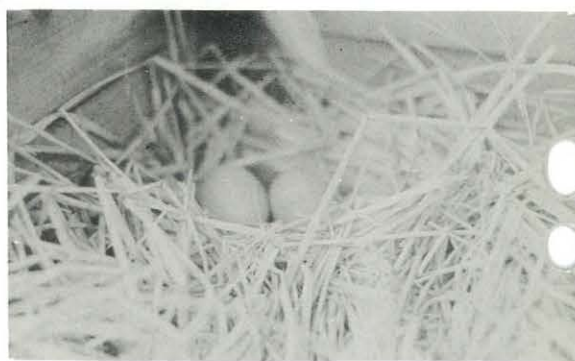
←ふ化、7羽のうぶ声が聞かれた。
(7月14日)

抱卵は、めすだけで、1日1～2回餌を食べに出るだけでした。

↓交尾



↓産卵開始(6月11日)



抱卵を始めた。→
(6月18日)
巢は、わらをまるく上手に被って作っていた。



8月動物園日記

5. クロサイのおすの頬に大きな腫れものができましたので薬をのましています。
8. エゾシカが出産しましたが、赤ちゃんは親について行こうとしてプールの深みにはまり、水死してしまいました。
15. 台風9号でや、風雨強まるも被害なし。
16. 台風9号に乗ってきたのか、神戸で捕えたグンカンドリ1

羽が寄贈された。

19. チーター2頭は、新しい部屋に入れてやりました。チーターは繊細な足の持主で足をいためやすく、この移動後もやはり、少し前足をあげて、びっこをひくようになりました。
23. ニホンザルが1頭生まれました。
24. 鶏舎にイタチが出没するようになり、これまで数羽のキジが犠牲になりました。

25. シュバシコウのフライイングケージのところに新たに1カ所の巢皿をつけてやりました。来春はこの上にも巣を作ってひながかえるでしょう。
28. ボアが1頭死亡しました。糸虫が多数寄生していてやせてしまい衰弱したものです。
30. インドクロカモシカが1頭生まれました。
31. ニュージーランドから贈られたキーウイのペットネームを募集していましたが、このほど、次の通り名前がきまりま

した。
おすは、ニュージー君、めすは、ランドちゃんです。

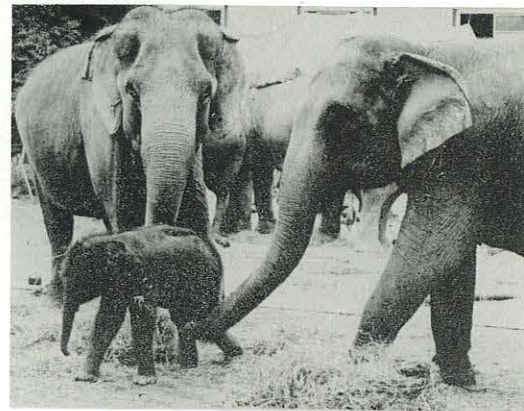
タイの象使いたち

私は、万国博の象まつりに参加するため16頭の巨象と4頭のチビッコ象をひきつけてやってきたタイ国の象使いたちと、幸運にも接することができました。彼らとは同じアジア人という親近感で、言葉が通じなくとも手まねなどで親しく接することができました。彼らも私に納得するまで応対してくれたことは幸いでした。

最初、万国博でタイ国のナショナルデーが催され象使いたちと多くの象たちが来日し、神戸から会場までパレードするという報道を耳にしたとき、とても想像がつかず、無理だろうと思いました。いくら慣れた象でも日本の交通事情では、車の騒音、見なれぬ環境で暴走するのではないだろうか心配しました。しかし、象たちは何も恐れることなく、平然と落ちつきはらって行進するようすには私の方が驚いてしまいました。彼ら象使いたちの見事な使役ぶりは私たちが犬を連れて歩くがごときです。容易に操作しているとは申せ、それに至るまでの苦労は大変だったろうと推察されます。彼らは、幼い頃から象に接し、日本人の象への考えとは大変違うことを痛切に感じました。彼らは、タイ国で野生象を生捕りにする“象狩り”の職人です。捕獲方法は、使役された象に乗って目標の野生象を追い、ロープで野生象の足をひっかけるのです。このロープは何の樹から作ったのか知りませんが、樹皮を編んで作ってあり長さ25mぐらいいで、相当の重量です。彼らは“象狩り”の無事を祈ってこのような道具を大変大事に扱っていました。特に、彼らは、このロープを女性が触れるのを大変嫌っていました。やはり、日本同様仏教国であることから伺われます。

神戸からパレードをスタートとして一路万国博会場へ慣れぬアスファルト道路を進んだのですが、やはり、予定通りにはいかず、この日は武庫川で野営ということになりました。常は静かな武庫川もこの日ばかりは見物人が、ワンサと押しかけずごい人出でした。象たちは水浴びをしたり、草を食べたりして長い旅のつかれをいやしていました。

翌日、パレードを再開し午後全頭無事会場近くの動物飼育センターにつきました。センターには、すでに空輪されたチビッコ象4頭がいて、彼らを出迎えました。到着した16頭の象たちは、パイプにくさりをつないだ簡単なけい留場につながれました。早速ドラムカンで給水し、干草が与えられました。象の



万国博会場で生まれた仔象 (津嶋久仁香 撮影)

到着するまでの飼育センターは、広いように感じましたが、巨象16頭が入ると、さすがに人の通るのもきゅうくつな程でした。

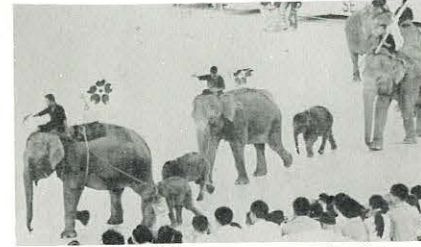
“象まつり”は、最初、全頭が広場をパレードし、次に象のひろいもの競走です。象も走れば案外に速いのおどろきました。所定の場所においてある帽子、空ビン、鯉のぼり、キャラメル、などを順に鼻でひろって乗っている象使いたちに渡すのです。渡さずに食べてしまう象、懸命に走る象、面白かった。若者70人との綱引き、象の強い力には驚きました。次に古式タイ国の戦象の行進があって終わりました。サーカスのように芸を目的としない人と象との一体となったタイ国のショーは純粋だったと思います。

象の背に乗ってみよといわれて乗りましたが、気分がとってもよく殿様になったようでした。16頭のうち4頭がおす象で、12頭がめす象でしたが、このうち1頭が飼育センターでお産をしました。8月16日午前2時でした。母象はその2~3日前から分娩の徴候がありました。体重は約98kg体高93cm真黒の毛がたくさん生えていました。他の象も心配そうに仔象に話しかけるようにいたっていました。象使いが仔象にさわっても母象は怒ったりしませんでした。

仔象はお乳をのむとほとんど横になって眠っていました。8月19日この仔象は“広場ちゃん”と命名されました。私はこの仔象が無事に育てられ、また、巨象たちが、無事に故郷のタイの森林に帰るよう祈って飼育センターを離れました。

(三浦 正明)

☆万国博“象まつり”の写真紹介



↓綱引き

↓パレード



↓戦象パレード

↑ひろいもの競走



☆スカンクの出産



6月25日、セスジスカンクに赤ちゃんが生まれました。3頭生まれたうち育ったのがわずかに

1頭でしたが、元気に育った1頭は生後45日目にスカンクの武器の臭腺を切りとる手術を受けました。これをしないことには、お隣りの動物も飼育係はもちろん、入園者にも大変臭い目をみなければならぬのです。今は無事手術の傷あともなくなり、親子3匹仲よくくらしています。

“故 林 園長の特訓”

私はこんな夢を見た……。天王寺動物園の初代園長であった故 林佐市園長が、突然夢で眼前に姿を現した。細い体の林さんの頭髪とあのチョビひげは、今は真白になっていたが至って元気そうに私に話かけた。

新聞で見たニュージーランドの国鳥、キーウイを是非見たいと山口県熊毛郡平生町から、はるばると来園したのである。日本に初めて来たこの珍鳥キーウイを見て……。キリンにそっくりの顔付きの林園長は大変な喜びようであった。1日も長生きさせるように……。それには、あれやこれやと私に特訓を授けてくれるのである。

エサに困っている話をすると、み、ずを帰ったらすぐ山口県から送り届けたいと……。故 林さんらしく、78才の高令で、3年前の昭和42年4月24日老衰にて、この世を去ったが、今尚動物愛に徹した亡き林園長の靈魂がこんこんと後輩の私に激励し先輩振りを示してくれたのである。

私は現在の動物園の様子を話かけている内に眼がさめた。

当時に比らべておそらく内容、外観共に変わった動物園をどう感じられたことであろう……。

(昭和45年8月2日 和田 辰巳)

朝日新聞“声”より

こん虫についての投書2つ紹介しましょう。

☆こん虫の大量捕獲やめて

和歌山市 山本恵美子 (主婦 36歳)

山地の人に、カブト虫がおりますかと聞くと、「去年までは毎晩電灯が暗くなるほど飛んできたのに今年はたった3匹しか姿を見せないこのあたりにも虫を買う業者が来るので、みんなが取りつくしたに違いない。来年は1匹もいなくなるのでは…」と心配している。こん虫の商品化、善意とはいえ地方から都会の子どもに大量のカブト虫を贈るなどの報道を見るたびに、今に日本中から虫や小動物が姿を消してしまいうさだか心配していたのが、恐ろしい早さで現実になろうとしている。それだけでなく農薬はじめ種々の公害が次々に小さい生物を絶滅に追いこんで行くのに、このまま大量捕獲を見のがせば、ますますひどいことになるだろう。

先日、本園で子どもを虫の所へ連れて行けと提唱されていたが、その通りと思う。生きた教材がほければ、名所旧跡を観光旅行する代りに、都市と地方の学校で、姉妹校の縁を結び、夏休みには民宿などをして生物の自然観察をさせるほうが適切ではなからうか。

小さな虫が大自然の中で生抜くために、どんなに一生けんめい努力しているかを自分の目でたしかめた子どもたちは、きっと生命を尊ぶ人間に成長するだろう。一刻も早くこん虫の大量捕獲をやめてほしいが、法で禁ずるより方法はないのだから。

☆こん虫売りはありがた迷惑

町田市 稲森武等 (学生 19歳)

夏休みが近づくと、ことしも、いろんなこん虫が店先に並べられることと思います。カブトムシが100円、キリギリスが70円などと、それぞれ値段をつけて、子どもたちの手に渡っていきます。これはありがた迷惑だと思っております。100円玉1つでこん虫が「買える」と思わせてしまうことになるからです。もし業者の人たちが、どうしてもこん虫を子どもたちに見せようとするのであれば、こん虫を「売る」のではなく「自然に近い状態で子どもたちに見せる」ことを考えたらいかでしようか。たとえば、こん虫園のようなものを、業者の人たちが協力して作るとか……。子どもたちにこん虫を商品と思わせることは、自然の価値そのものを安易に解釈させることになると思います。私は年々、店先に多くなってゆくこん虫を姿を見るたびに死を約束されたこん虫が、あわれに思えてならないのです。

なきごえ 昭和45年9月15日発行(毎月1回15日発行)第6巻第9号(通巻62号)
編集人/加藤寿雄 発行所/社団法人大阪市天王寺動物園協会 ☎ 543 大阪市天王寺区玉水町2
印刷所/株式会社 松村善進堂 電話 大阪(06)771-0201
振替口座 大阪 37823 定価 50円

ペット鳥獣輸入

小獣、大動物 全国動物園水族館御用達

- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円

有限会社 吉川商会

本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話 (078)22-8195・22-1517
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話 (078)24-3494



自然の
おいしさ

全糖

- 合成甘味料・合成保存料・合成糊料・合成着色料はっさい含まれていません。



雪印ヨーグル

パイン・オレンジ・フルーツカクテル

各140c.c.=60円